



振り返るアートのちから

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2015クロージングフォーラム

「アートは何を残せたか 震災から5年の福島・アート・地域」

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトでは、アートプロジェクトを中心にトークイベント、ワークショップ、展覧会などを福島県内外の諸団体と協働して2012年から実施してきました。東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故によってもたらされた被害と復興の記録、将来の復興を担う子どもたちへの取り組み、コミュニティの再生、福島の現状の発信などを目的に掲げています。

同じく重要な目的が、福島県内でのアートを介したネットワークの形成、これまでにない新たな視点を持った文化の創出です。

本フォーラムでは、これまで国内の多くのアートプロジェクトを支援し、ネットワーク化を推進してきたアサヒビール芸術文化財団事務局長加藤種男氏をお招きし、本プロジェクト参加作家、携わったNPO法人スタッフ、博物館学芸員と福島とこの国の文化政策について対話を行ないます。

震災後、原発事故後の福島でアートや文化が何を残せたか、これから何を生み出せるのか。震災・原発事故から5年目を迎え、ますます重要になってくるであろうアートや文化について、みなさんと共有し語り合う場としたいと思います。

本活動を広く知っていただきたく、取材のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト詳細はこちら→<http://hamanakaizu.jp/>

The poster is divided into three vertical sections: red (left), yellow (middle), and blue (right).  
**Red Section:** Title 'アートは何を残せたか' (Art: What Remained) and '震災から5年の福島・アート・地域' (Fukushima Art Region 5 Years After Disaster). Date: 2016年3月6日 (日) 14:45~18:30. Venue: 福島県立博物館講堂. Special Lecture by 加藤種男 (Kato Munio).  
**Yellow Section:** Details about the project and the speaker, 加藤種男 (Kato Munio), President of Asahi Beer Art & Culture Foundation.  
**Blue Section:** Program schedule: 14:45-15:50 (Special Report), 16:00-16:45 (Lecture), 16:45-17:30 (Special Lecture), 17:30-18:30 (Cross-talk). Organized by Hamanaka Aizu Cultural Collaboration Project Executive Committee.

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当: 小林、高橋、馬場



はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト 2015  
クロージングフォーラム

「アートは何を残せたか 震災から5年の福島・アート・地域」

【開催日時】

2016年3月6日（日）14:45～18:30

【特別講演講師】

加藤種男氏（アサヒビール芸術文化財団事務局長）

【講演講師】

岡部昌生氏（美術家）

【報告】

二上文彦氏（南相馬市博物館学芸員）

会田勝康氏（NPO法人 Wunder ground コミュニティコーディネーター）

【モデレーター】

赤坂憲雄（はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会委員長）

【会場】

福島県立博物館講堂

（福島県会津若松市城東町1-25）

【入場料・お申込】

入場無料・申込不要

【主催】

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25（福島県立博物館内）

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000（福島県立博物館代表）

Fax 0242-28-5986

担当：小林、高橋、馬場



## 【タイムスケジュール】

前半では、これまで協働のパートナーとして南相馬市で「岡部昌生フロッタージュプロジェクト」「福島写真美術館プロジェクト」に携わった南相馬市博物館学芸員の二上文彦氏、いわき市で「いわきセタプロジェクト」に携わったNPO法人 Wunder ground コミュニティコーディネーターの会田勝康氏による事業報告を行います。

後半は、はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトに参加し、南相馬市・飯館村・大熊町・石川町などで震災や原発事故の記憶の記録に取り組んできた美術家の岡部昌生氏による講演と、全国各地のアートプロジェクトへの支援、ネットワーク化を進めてこられた加藤種男氏による特別講演。最後に、実行委員会委員長の赤坂憲雄がモデレーターを務め、出演者全員の登壇によるクロストークを行い、福島でのアートプロジェクトの可能性を会場の皆さんと共有します。

- 14 : 45 あいさつ（赤坂委員長）
- 14 : 50 はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト事業報告（事務局：矢吹・小林）
- 15 : 10 【報告】いわき市でのプロジェクトについて（会田勝康氏）
- 15 : 30 【報告】南相馬市でのプロジェクトについて（二上文彦氏）
- 15 : 50 休憩
- 16 : 00 【講演】フロッタージュプロジェクトが伝える福島／フクシマ（岡部昌生氏）
- 16 : 45 【特別講演】アートプロジェクトと地域文化（加藤種男氏）
- 17 : 30 クロストーク（加藤種男氏・岡部昌生氏・二上文彦氏・会田勝康氏）
- 18 : 30 閉会

講演講師・報告者のプロフィールは別添の「アートは何を残せたか 震災から5年の福島・アート・地域」A4 チラシデータをご参照ください。

## はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当:小林、高橋、馬場